

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

東

上場会社名 株式会社中山製鋼所 上場取引所 東  
 コード番号 5408 URL <https://www.nakayama-steel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 伸彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 参与企画部長 兼 I R広報室長 (氏名) 森岡 由喜夫 (TEL) 06-6555-3027  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	109,711	△15.4	3,217	△52.0	2,963	△55.2	1,668	△63.2
	129,656	△6.2	6,706	△29.4	6,607	△29.8	4,528	△30.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,088百万円(△51.2%) 2025年3月期第3四半期 4,281百万円(△37.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 30.79	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	83.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 149,983	百万円 107,297	% 71.5
2025年3月期	149,148	106,810	71.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 107,297百万円 2025年3月期 106,810百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 —	円 銭 22.00	円 銭 40.00
2026年3月期	—	8.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				5.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	148,000	△12.6	4,200	△50.2	4,000	△50.7	2,300	△59.6
								42.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年3月期 3Q	63,079,256株	2025年3月期	63,079,256株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	8,863,762株	2025年3月期	8,903,954株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	54,197,755株	2025年3月期 3Q	54,167,442株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、今後の緩やかな回復が期待されるものの、物価上昇による個人消費の下押しや仕入価格の高止まり等から、足元では内外需ともに力強さを欠いております。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましては、建設業向けは資材高騰や人手不足に伴う工期の遅れ、縮小などの影響が継続しており、製造業向けについても盛り上がりを欠いていることから、国内需要は低調に推移しております。それに加え中国などから安価な輸入品が流入してきたことで、鋼材販売価格の下落影響を受けました。当社グループにおきましては、9月26日に発生した第5変電所事故により当社電気炉は操業停止を余儀なくされたものの、取引先への製品供給は代替鉄源を購入することで継続をさせました。なお、電気炉は12月24日より稼働を再開しており、その後は順調に操業を継続しております。このような環境下ではありますが、当社グループは「中山製鋼所グループ2030長期ビジョン」の実現に向けて、引き続き新電気炉保有を目的とした合弁会社の2026年3月設立を目指して参ります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,097億11百万円(前年同期比199億45百万円減)、営業利益32億17百万円(前年同期比34億88百万円の減益)、経常利益29億63百万円(前年同期比36億44百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益16億68百万円(前年同期比28億59百万円の減益)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、鋼材販売価格における価格対応を迫られる中でスプレッドの確保に努めましたが、変電所事故による電気炉操業休止中の減産影響や復旧費用、需要低迷や出荷調整等に伴う鋼材販売量の減少、固定費の増加等により減益となりました。なお、電気炉操業休止の影響は当連結会計年度のみの一過性要因となります。

これらの結果、売上高は1,079億24百万円(前年同期比197億31百万円減)、経常利益は26億93百万円(前年同期比34億68百万円の減益)となりました。

エンジニアリングにつきましては、海洋部門の売上減や鋳機部門のコスト削減などにより、売上高は12億49百万円(前年同期比1億42百万円減)、経常利益は21百万円(前年同期比2百万円の増益)となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は10億52百万円(前年同期比10百万円増)、経常利益は5億12百万円(前年同期比11百万円の減益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,499億83百万円となり、前連結会計年度末と比べ8億35百万円増加しました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産、商品及び製品が減少した一方、現金及び預金、電子記録債権、機械及び装置ほか有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は426億85百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億48百万円増加しました。これは主として、未払金、未払法人税等が減少した一方、支払手形及び買掛金、電子記録債務、繰延税金負債が増加したことによるものであります。

純資産は1,072億97百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億87百万円増加しました。これは主として、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、中国経済の低迷に伴う海外市況の不透明感や国内鉄鋼需要の低迷に加え、鉄スクラップ価格が為替影響から上昇基調にある為、厳しい事業環境が継続していくことが予想されます。そのような中、当社グループは電気炉操業休止影響からのリカバリーを図るべく鋼材販売数量を増加させていくと共に、適正価格の維持を図り、スプレッドの確保に努めて参ります。

以上の状況を踏まえ、2026年3月期の連結業績は、売上高1,480億円、営業利益42億円、経常利益40億円、親会社株主に帰属する当期純利益23億円を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	15,346	23,794
受取手形、売掛金及び契約資産	33,420	27,771
電子記録債権	8,909	10,228
商品及び製品	17,187	11,993
仕掛品	4,900	5,032
原材料及び貯蔵品	11,876	11,291
その他	919	1,164
貸倒引当金	△34	△43
流动資産合計	92,524	91,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,917	7,884
機械及び装置（純額）	16,622	17,416
土地	22,611	22,613
その他（純額）	1,136	2,063
有形固定資産合計	48,288	49,978
無形固定資産	470	399
投資その他の資産		
投資有価証券	3,193	3,840
差入保証金	1,764	1,766
その他	2,935	2,794
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	7,864	8,373
固定資産合計	56,623	58,750
<b>資産合計</b>	<b>149,148</b>	<b>149,983</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	14,345	15,589
電子記録債務	2,757	3,348
短期借入金	2,546	2,525
未払金	2,788	2,047
未払費用	1,739	1,892
未払法人税等	883	67
賞与引当金	1,028	461
環境対策引当金	17	0
解体撤去引当金	231	—
その他	600	1,432
<b>流動負債合計</b>	<b>26,941</b>	<b>27,365</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	6,515	6,125
繰延税金負債	3,183	3,397
再評価に係る繰延税金負債	1,030	1,030
環境対策引当金	5	7
解体撤去引当金	187	187
関係会社事業損失引当金	893	893
退職給付に係る負債	2,314	2,327
その他	1,265	1,350
<b>固定負債合計</b>	<b>15,396</b>	<b>15,320</b>
<b>負債合計</b>	<b>42,337</b>	<b>42,685</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>20,044</b>	<b>20,044</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>7,857</b>	<b>7,879</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>75,936</b>	<b>75,979</b>
<b>自己株式</b>	<b>△773</b>	<b>△769</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>103,065</b>	<b>103,133</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>928</b>	<b>1,359</b>
<b>繰延ヘッジ損益</b>	<b>—</b>	<b>0</b>
<b>土地再評価差額金</b>	<b>2,359</b>	<b>2,359</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>456</b>	<b>444</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>3,744</b>	<b>4,163</b>
<b>純資産合計</b>	<b>106,810</b>	<b>107,297</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>149,148</b>	<b>149,983</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	129,656	109,711
売上原価	112,761	96,331
売上総利益	16,895	13,379
販売費及び一般管理費		
販売費	4,301	3,979
一般管理費	5,887	6,182
販売費及び一般管理費合計	10,189	10,162
営業利益	6,706	3,217
営業外収益		
受取利息	38	33
受取配当金	92	90
持分法による投資利益	43	31
その他	110	166
営業外収益合計	285	322
営業外費用		
支払利息	125	142
その他	258	434
営業外費用合計	384	576
経常利益	6,607	2,963
特別利益		
スクラップ売却益	—	51
固定資産売却益	2	13
特別利益合計	2	65
特別損失		
固定資産除却損	84	509
その他	4	0
特別損失合計	89	509
税金等調整前四半期純利益	6,521	2,519
法人税等	1,993	850
四半期純利益	4,528	1,668
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,528	1,668

## 四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,528	1,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△209	431
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整額	△37	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△247	419
四半期包括利益	4,281	2,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,281	2,088
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,139百万円	2,340百万円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	127,533	1,381	—	128,914	—	128,914
その他の収益	—	—	741	741	—	741
外部顧客への売上高	127,533	1,381	741	129,656	—	129,656
セグメント間の内部売上高又は振替高	122	11	300	433	△433	—
計	127,655	1,392	1,042	130,090	△433	129,656
セグメント利益(経常利益)	6,162	19	524	6,706	△99	6,607

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)	
利益又は損失	金額
報告セグメント計	6,706
セグメント間取引消去	4
全社営業外損益（注）	△103
四半期連結損益計算書の経常利益	6,607

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	107,752	1,224	—	108,977	—	108,977
その他の収益	—	—	733	733	—	733
外部顧客への売上高	107,752	1,224	733	109,711	—	109,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	171	24	319	515	△515	—
計	107,924	1,249	1,052	110,227	△515	109,711
セグメント利益(経常利益)	2,693	21	512	3,228	△265	2,963

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)	
利益又は損失	金額
報告セグメント計	3,228
セグメント間取引消去	0
全社営業外損益（注）	△266
四半期連結損益計算書の経常利益	2,963

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。